（1）　日刊（除月曜）　昭和21年6月1日 第三種郵便物認可　昭和24年2月23日 運輸省特別扱承認第238号　いわき民報　夕刊　昭和27年1月31日（木曜日）　第1745号

夕刊
いわき民報
発行所
平市田町 電381 1222
いわき民報社
編集兼発行印刷人 田原登

特許携帯用録音機
今入れて 今きける
一万回使えるテープ付
御報次第実演に参上
特約店 ささき ほんや 角忠
平市二丁目電二八五

今年の出炭計畫

四百五十萬トン

前年比 四十七萬八千噸増

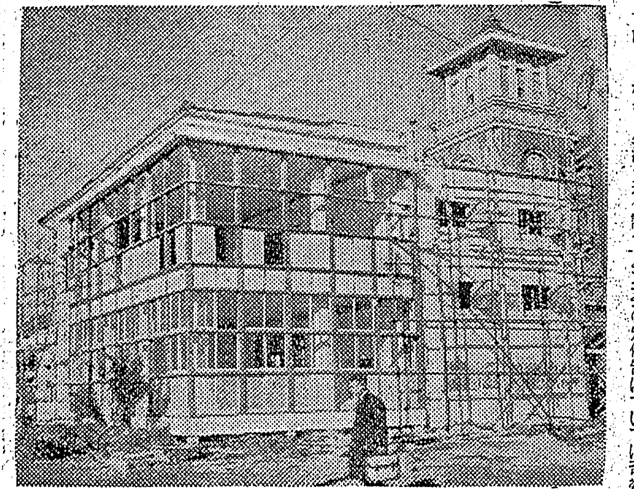
平石炭事務所では昭和二十七年度の出炭計画に就き、各炭鉱からの出炭計画その他今後の経済的見透しなどを加味して管内出炭計画を四百五十万トとこの程見積つた

各四半期毎の出炭計画は一・四半期百九万六千ト、二・四半期百二万ト、三・四半期百十九万四千ト、四・四半期百十九万トという内訳である、昭和二十六年度の出炭目標は四百二万二千トであるから四十七万八千トの増加である、なお二十六年度の実績は三月から十二月まで三百六万三千六百一トで四・四半期（一月―三月迄）の出炭見込みが百五万トと見られているから大丈夫目標は突破するものとみられる

婦人會長會開く

レクもあり盛會に幕

本年初の平、石城連合婦人会長会は管内の単位婦人会長七十八名を集め二十九日午前九時半から石城地方事務所会議室で開き二月二十四日磐女商講堂で開かれる生活合理化講習会、会長会の定例制、婦人会館建設、婦人指導者講習会伝講、県下婦人大会の件などについて協議した結果、生活合理化講習会の出席人員については県からの要望で二百名に限定し各単位婦人会から二名、青年団女子部から一名とする、また講習会の消費経済についての発表者は農村家庭の部不田トク（平市平鎌）商家の部、古川クラ（植田町）サラリーマンの部、湯本町炭鉱地区代表とする会長会の定例制については奇数の月の十五日とする（但し臨時の場合は其の都度招集する）婦人会館建設については決定線が出ず次会に持ち越し、婦人指導者講習会伝講については二月中に完了する様にする、県下婦人大会は予算を十二万円程度とし十三名から成る大会事務局を設置すると共に大会特別委員会を設け委員十二名を置くことなどを決定し、レクリエーションとして磐崎婦人会長の『めでた』其の他独唱などがありなごやかなふん囲気の中に午後二時半有意義な会の幕を閉じた



公民舘完成

あす落成式

平市では三十一日午前十一時から市公会堂側の新装成つた公民館で落成式を催行する、この公民館は昨年三月、磐城土建の請負で総工費二百五十五万円で着工、昨年九月三十日竣工の予定だつたが資材の値上がりその他で延々となつていたものでこの外、電気、水道工事費十万円が出ている（写真は落成した公民館）

前節の賣上千四百万

二回競輪 舊正で好成績

平競輪三日目（三十日）の車券売上げは五百三十七万八千円で場外売場はうち三丁目百二十七万五百円郡山七十六万千三百円、穴では二レース（実用車）に三千三百八十円が一番多かつた、前節三日間の総売上げが千四百五十六万六千八百円で場外売場がうち三割の四百八十五万四千百円を占め旧正とあつてまれに見る入出で賑わつた

落盤で重傷

三十日午前八時半ごろ内郷町常磐炭鉱内郷鉱に落盤があり坑内で鉄柱立て作業中の佐藤嘉蔵さん（三四）は下敷となり左下腿に全治三カ月の重傷を負うた

無線連絡試験が良好

日平線建設への準備

日平線建設に伴う準備協議会は二十九日午後一時から東北電力平営業所で開き建設工事の連絡に必要な無線電話の設備をなし磐崎村白鳥の変電所と工事用パトロールカーとの無線電話試験をした結果成績良好であつた、東北電力では立戸塚製作所から無線電話パトロールカー用トヨペット型自動車二台を二千万円の予算で購入する

舊五日出初

底曳で決定

小名浜機船底曳網漁協組では船頭会を二十八日午前十時より同組合会議室に開き底曳船の出初めを旧五日に当る三十一日朝行うこと及び旧十五、六（二月十、十一日）の両日を一齊休業日とし旧十七日（十二日）から出漁することをきめた

信組金庫が集金へ

納税組合の組織強化

―市税滞納整理に二案―

平市税務課では市税滞納整理運動の一環として納税貯蓄組合の普及を実施することになつた、現在ある納税組合は大小百三十ばかりあるが半身不随のものもあり、今度は平信用金庫が一切、集金するようにしたので大いに利用するよう要望している

同課では納税組合が出来れば各組合員の月、日掛等を計算してくれる、同金庫は五十円以上及び月掛のものは戸別集金する、（但し鉄道以南の旧市内）五十円未満の場合は組合員が廻り番で徴収一括納入するようにとのぞんでいる

なお市の滞納額は過年度分二千万円、二十六年度分三千万円と合計四千万円にものぼり、それに二月に行われる固定資産税三期分は一千万円からあるので同課でも青息吐息の滞納整理に躍気の運動をすゝめている

小銃彈三百發を隠匿

引揚者木下を書類送検

小名浜海上保安部では三十日小名浜町元鍛山一三元柳宝丸責任者木下一郎（四〇）を業務上横領、火薬取締違反容疑で書類送検した、木下は小名浜港附近で柳宝丸（五七九トン）で爆発物を引き揚げていたが去る十四日午後四時半ごろ同作業船内から小銃弾など三百三十点を横領、小名浜町栄町無職白土ツイさん（三九）方に隠して売却しようとしたもの

自轉車盗まる

◇小名浜町栄町魚行商中野マサさん（三三）方では二十九日午後十時ごろ中古自転車一台（二万円相当）を盗まれた

水素労組書記長

小名浜町高山日本水素労組では二十三日より三日間書記長、執行委員の選挙を行い二十五日開票の結果次の人々が選ばれた
▼書記長、竹田武男▼執行委員 岡裕生以下六名

更に贈賄側一名逮捕

平驛汚職事件

松崎政信

平駅貨物掛の汚職事件を追究中の平地区署は二十九日夕刻平市材木町一四小野崎産業株式会社員松崎政信（五三）を贈賄容疑で逮捕、身柄を同署に留置した、松崎は昨年五月上旬ごろ配車を優先的にもらうため平駅貨物掛酒井伊助（三八）に現金千円を贈つた疑いによるもの

失保金の不正受給

二人を發見返還命令

平職安所では三十日赤井村赤井字田中田山力太郎（二七）磐崎村上湯長谷字梅力平酒井誠（三三）の両名を失業保険金不正受給の疑いで支給停止処分に付すると共に不正受給金の返還を命じた、田山は去る十日から十六日まで上小川村横川鉱業所に就労しながら失保金七日分二千四百二十円を、酒井は去る五日から広野町上浅見川寺沢炭鉱に運搬夫として就労しながら十六日分四千七百二十円を不正受給していたもの

二年の判決

四倉の殺人

昨年二月に四倉町火打祭の夜の殺人事件の四倉町仲町鈴木康のり（三四）と久之浜町田之網漁夫大谷進（三〇）の最終公判は三十日午前十時から地裁平支部に開かれ青木裁判長から鈴木、大谷の両名に懲役二年（求刑三年）の実刑、また鈴木には暴行の罰金二千円も併科されて判決言渡された

両名は昨年二月十八日午後十時ごろ火打祭を見ていた同町仲町前科三犯八巻秀重（三〇）をナワバリ争いからピストルで打つた同町仲町高野一家佐藤利雄＝当時（二九）＝を追いかけて出刃包丁で殺害したもの

春も宛ら

一日から寒い

旧正月だというのにこゝ数日来ポカポカな陽気が続いて石城地方はまるで春のような暖かさだが、これについて小名浜測候所では『二十九日の最高気温は十三度六分で平年より六度二分も高く四月上旬の気候だ』と発表している、これは黄海にあつた高気圧が本邦の南を廻つて通過したため南からの暖風が吸い込まれたもので三十日も前日より高い陽気が続いている、急にやつて来た〝春〟も来月一日ごろには冬型の寒さに変るだろうという、然しこゝ暫らくは極端な寒波はない見込みだと託宣している

就労停止で交渉

内郷町自由労組元組合長孫田晋氏ら二名は三十日朝平土木監督所を訪ずれ先に就労停止にされた十名の即時解除方を交渉したが平職安所と連絡して善処すると回答され物別れとなつた

六棟完成

湯本の住宅

湯本町では昨年十月下旬総工費百二十万円で関船字迎地内に一戸建六棟合計六十坪の庶民住宅を着工したが三十一日完成する、入居希望者受付は二月上旬開始する

強盗の訴え

狂言と判る

川部村大字山玉字前田三六農業箭水徳次郎（五四）は二十九日午後六時ごろ泥酔し同地小川地内を歩行中数名の怪漢におそわれ現金二百円在中の皮財布を強奪されたと同地駐在所に届出た、直ちに植田本署から花見警部補ほか十数名の武装警官隊が繰出しくまなく捜査した所強奪事件は狂言と分り徳次郎はさん〴〵大目玉を喰つた

泥酔して前後不覚の徳次郎は小川地内で財布を落して帰宅、酔いがさめて財布のない所からさわぎたてたもの

天気予報

三十日

【今晩】西よりの風よい天気

【明日】北西の風大体ハレ午後には一時うす雲が拡る、海上は明日沿岸は穏か沖合では時々西風ツヨまる

舊正賣出し御禮
三丁目商店会の旧正大売出しも皆様の御支援によりまして盛況裡に二十九日無事終了致しました厚く御礼申上げます
なお今後共引続き御愛顧を頂きますよう御願い申上げます
一月三十日
三丁目商店會

平驛前で いつ何時でも お食事の出来る店
トキワヤ食堂
デンワ 一三九〇

第13回 1口千円 6カ月 空籤なし
東邦の宝定期
特賞10萬圓
幸運の抽籤日4月6日
東邦銀行

祝 内郷第一中學校校舎 新築落成式 1月31日

内郷町役場
町長 沼田一夫
助役 黒田吉之助
収入役 山崎千朝

内郷町議會
議長 菅本三義
外議員一同

内郷町消防團
団長 佐藤三平
副団長 吉田吉五郎

内郷第一中學校
校長 田子泰作
PTA会長 草野啓助
〃副会長 根本林平
〃 〃 長谷川亀雄

感謝の言葉

内郷一中校長 田子泰作

本日こゝに新校舎の落成を見ましたことは関係官庁は言うに及ばず町当局並に歴代のPTA、町民各位の涙ぐましい努力と熱誠の賜であると深く感謝いたしておる次第であります
この学校が内郷町文化の中心となり職員及生徒たちの思い出深い学園となるよう祈つてやみません、一言述べて感謝の言葉といたします

内郷町連合PTA
会長 佐藤三平

内郷町高坂小學校
校長 大和田祐之

御挨拶

本日内郷第一中学校の新校舎が工事を完了し晴れの落成式を挙げるに至りましたことは工事請負人として欣快至極に存ずるところであります、着工以来町当局はじめ関係各位のから賜わりました御協力と御援助に対しこゝに衷心より感謝の意を表します

工事請負人
東部産業株式会社
社長 松本栄一
常務 岡田不二
平市新川町六
電九七 六四七

新春餘話

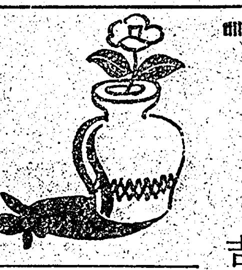
吉屋貞一

夏は暑く冬は寒いというのが私の季節観で『心頭を滅すれば火もまた涼し』など気取った言葉は得手ではないがこの春になって北アメリカは氷点下五十度の厳寒が訪ずれたそうで、日本もあおりを喰ったのか有り難くない寒さが見舞って、海の方は潮流の異変もあるらしく、日本海沿岸のイワシは例年より四五カ月早く山形県の海辺近く北上して豊漁だと伝えられ、太平洋岸はセグロイワシが来襲して漁村を賑わしている。いずれも暖流の強い進出を証明するわけであろう。

太平洋岸のイワシ不漁は終戦以来続いたけれども日本海岸は相変らずのイワシ漁業に恵まれているわけで津軽海峡を通過したものが逆に太平洋岸に現われることもある。近頃のイワシ群に関する待望もセグロから後続部隊として大羽イワシが来るかどうか速断は困難なことであろう。福島県では百二十万円とかで其漁場を探すそうであるけれども、こんな調査は少なくも宮城、茨城両県位とは連絡して行うことが効果的であると思う。

従来は対米輸出の第二位を占める生または冷凍マグロは無税であったものが新に一トン六十ドルの関税を下院で可決したのは昨年十一月十五日で上院は審議未了で今春に持ち越したわけで、今頃になって騒ぎ出して対策協議会の代表団が来る廿日過ぎ渡米してこれが延期方を陳情するそうだけれども、少し呑気過ぎはしないか、無条件の延期は恐らく不可能であろう。

今回優秀な発明の企業化、実用化を促進するため発明家援助貸付金制度を創設して明年度は二千万を支出して各百万円づつ廿件に五カ年賦で貸付けるそうで主旨は結構と思うが、昨年秋に発明協会の斎藤理事長に会った時は年間に一億を計上して通常議会に提出の予定だと喜んでいたけれども五分の一に削られたものである。日本を救う発明発見の大事業を育成する予算位に二千万円と聞いて更に当局者の奮発を願いたい気がする。日本は人的資源で豊富なばかりでなく優れた頭脳の開発は急務中の急務であるまいか。



四十戸の庶民住宅へ入居願いが五百

平市の住宅難依然深刻

平市土木課では昭和二十六年度庶民住宅四十戸は二月末に十戸、三月末に三十戸がそれ〴〵完成するので入居希望者に就き二月上旬から市の吏員が各戸を訪問して実情調査を行う、もし入居の希望者が住所を変更した際には至急、市土木課まで届出ること、届出しない場合は調査も出来ないから入居決定の抽選に該当しないことになるワケ、なお入居希望者は現在五百名以上にのぼって居り依然深刻な住宅難である

平市の人口白書 ②

出生は男子が多い

昨年中に一、一二五名生る

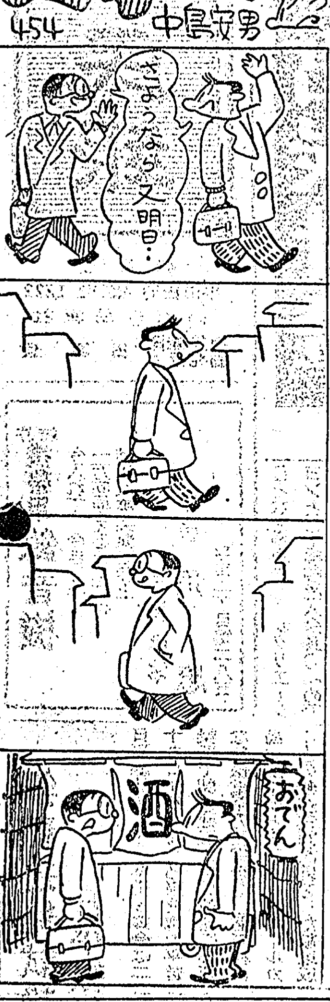
▼二十六年中の出生は一、一二五名でうち男五七三名女五四二名となっている、このうち嫡出子でない子所謂、私生児が男十五名女十六名

▼出生児の体重状況は三キロ以上四キロ未満の平均三・八キロが大部分で男三〇六名女三五二名、四キロ以上の一貫匁もあるのが男一三名女一一名、一キロ以上二キロ未満という小粒ものが男三名女三名、二キロ―三キロのものが男一七二名女一七六名とある

内郷町公民館

各界代表選任

内郷町公民館運営審議委員は昨年十一月の町会で八十名のところ十二名に減員されたがこのほど青年代表鈴木盛一、学校代表大和田祐之、議員代表菅本三義、中西道之助、宮下秀貫、労組代表三浦炭鉱代表神好一郎、農民代表高木庚直、商業代表佐藤兵吾、工業代表田中俊二郎、婦人代表林田氏子柴田このえ諸氏を決定、尚各部長として総務部菅本三義、産業部佐藤兵吾、教養部大和田祐之、集会部三浦清、厚生部神好一郎諸氏を選任した



PTA研究會開く

來る二日錦小學校

石城郡連合PTAでは菊多地区連合PTAと共催で二月二日午前八時半から錦小学校でPTA研究会を開き授業公開、分科会、質疑応答、研究討議などを行う

地辷り復舊工事に着手

磐崎村では二月一日工費十三万円で同村上湯長谷字地台道地内三百米に亘る地すべり復旧作業を開始する、尚上湯長谷灌漑池は県に陳情中で許可あり次第着工することになっている

上仁井田堰と農道工事

三月に着工

大浦村では上仁井田農道延長四百米（巾四米）コンクリート式上仁井田堰を県に陳情中だったがこのほど許可になったので農道工費十万円、上仁井田堰工費九十三万円で三月早々着工することになった なお長友―草野村北神谷間農道五百米を計画しており県に陳情中

新公判闘争戦術もなし

闘争乙組公判 次回は四日から

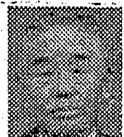
廿九日の平事件徹底斗争派乙組第四回公判二日目午後は一時から再開、元矢郷炭鉱労組副組合長、元内郷町議、平事件首魁松木佐吉被告から行われたが、同被告は約二時間にわたって陳述したのち起訴状を否認、次いで共産党を脱党したと伝えられる元内郷町議、平事件首魁の日野定利被告は『現状のように中、小炭鉱の圧迫を続ければ数カ月内外には平事件以上の事件が発生するだろう』と陳述して廷内の注目をひき被告席からも〝そうだ〟〝そうだ〟と呼応するヤジが起り裁判長の注意を受けた、更に織井巡査の拳銃を強奪した疑いで起訴された平子正孝被告は『拳銃を奪った憶えはない』と否認松木勇、斎藤隆行の両被告も否認し午後三時五十分閉廷、次回は二月四、五の二日間となり難行を思わせた乙組も目新しい公判斗争戦術も行われず六十二被告のうち三十八被告の起訴状の認否を終ったがいずれも否認した

雑犬を淘汰優秀犬へ

春に實演會開く〝愛犬協會〟

石城地方の愛犬家が集まって昨年九月磐城愛犬協会設立をしてからまだ日は浅いが会員は四十五名で会長は平市田町市議強口唯七郎氏専務理事は稲盛昌氏である、目的は蕃殖管理の指導、雑種犬の淘汰や狂犬病の予防、優秀犬の飼育そして芸を仕込ませ番犬、猟犬、護衛犬、捜査犬、座敷犬などに利用し交配、譲渡、譲受を行い動物愛護の精神を涵養して郷土文化の発展を計るのがねらい

会員の中では土佐犬、秋田犬セパートの三種が多く、二年間の仕込みで芸を覚えさせ国鑑に匹適するものに仕上げればなんと一匹が十万円から三十万円の値打が出るというから面白い趣味である石城地方は県下で三分の一の雑犬が繁殖し野良犬が横行しているという、強口会長は同会の活躍はこれから総会で今後の計画を立てるが、一応今春四月ごろセパートの実演会を公開して犬に対する一般の認識と興味を深めさせ、また会員をふやして大いに発展させたいと張切っている（写真は強口会長）



服毒自殺

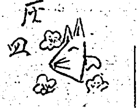
厭世から

二十九日午前三時ごろ箕輪村字高野無職河村和助さん（五七）は自宅でネオゴアチンを服み自殺した、原因は厭世らしい

溜池で水死

魚捕り中

小川村上小川字栖原木材運搬業鈴木源次郎さん（四八）は二十八日午後一時ごろ自宅附近の溜池で魚捕り中、過って転落水死した



湯本地区署では終戦以来遺失物届出が多数ありそれに対する拾得届をする者がなかったが、最近一カ月平均遺失届十六件位に対し拾得物を持参して来る者が五六人あるようになった、拾得届出をする者は殆んど他町村の農家の人達で町民で届出る者は少ないと言われており道で拾ったと五円十円まで持って来る子供達がめっきり増したと係員は語っている

溫泉旅館を二軒增設

湯本で協議

湯本町財産区議会では町内十一カ所にある引湯施設雑用水パック五カ所増設及び温泉旅館二軒増設の計画を進めており二月区会で協議する

いわき俳壇

青柿會句抄

一月二十日例会

渡辺何鳴選

寒雀降りて樹上に何もなし　よしを
寒雀飛んで樹雪を散らしけり
夕げ炊く姉の背中に日脚伸ぶ　蟬子
かさこそと日向踏みをり寒雀
忙中の閑娯しむや早梅に
山仕事終え早梅の香に憩ふ　紊子
野の風の此処には吹かず梅早し
帰宅して夕げに間あり日脚伸ぶ
寒雀暮るゝ梢にふくれをり　茂堂
枯園の吹かるゝまゝに早梅咲く
堆肥山くずれしまゝに寒雀
藁塚にあそぶ子らあり寒雀　胤政
興奮の劇場を出づるや日脚伸ぶ
日脚伸ぶ待合室の大時計
執務終へて日脚伸びたるろに集ふ
城跡の梅早かりし噂など
寒雀ひにかゞやきて飛び散れり
寒雀飢えざる夫の窓なりけり
寒雀ちぎられしごと梢より
縁側に日脚伸びたる木かげあり
暮るゝまでの仕事一つや日脚伸ぶ
寒雀一つ天より降りしのみ　何鳴

ラジオ JOCP JOHQ

ローカル平放送（31日）

前七・二五　東北だより

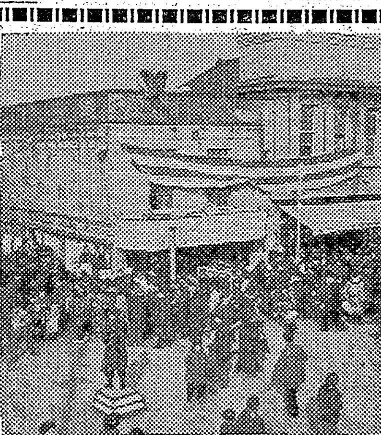
後六・三〇　夕のまどい

ちかやのオーバー

31＝4日　東映映画
嵐の星霜に生き抜いた
男女を描いて雄揮華麗！
待望の文藝巨篇！
昭和26年芸術祭参加作品
原作尾崎士郎「天皇機関説」より
風雪二十年
脚本　猪俣勝人
監督　佐分利信
佐分利信　宮城野由美子
岡田英次　外オールスターキヤスト
民衆劇場　電1322

皆様の利益を護る店
舊正月初賣出し盛況御禮
感謝　今回の初売出しに際しましては絶大なる御支援を戴きまして社長以下全従業員感謝感激致しさらに今年の努力を心よりちかい申上げる次第であります
おわび　今回の初売出しに際しましては臨時の手伝の人多くまた非常な混雑のためなにかと不行とどきの点がありましたことを深くおわび申上げます
續いて　今回の奉仕爆弾に続いて冬物一掃の特別奉仕品を続けて続々提供致しましてさらに皆様の利益を護るべく努力一途にばく進申上げます　さらに御支援のほど願上げます
大黒屋
社長馬目勝次郎
以下従業員一同
平本店
平支店
湯本支店
皆様の利益を護る店

二日市の平本店実況


二日市の平支店実況